

玉納奉寿（葬儀）の費用

玉納奉寿全体の費用は、①儀式奉納金、②その他の費用があります。②その他の費用は、利用する葬儀社によって変わります。

①儀式奉納金

・玉納奉寿奉納金…50万円

※納魂の儀（通夜）を行わない場合は40万円となります。

※明魂登録をされている場合、玉納奉寿奉納金（40万円）を既にお預かりしております。

・その他の費用

伝導師出向交通費・宿泊費…実費

御玉入れ（神示教会特製骨壺）7寸 19,030円、5寸 16,970円、3寸 8,740円

※送料は、別途頂きます。

※神玉里・神玉園に納骨する場合は、御玉入れをご使用いただきます。

②その他の費用

その他の費用としては、下記のようなものがあります。実際の費用に関しては、利用する葬儀社にご確認ください。

・祭壇使用料 ・式場使用料 ・火葬料金 ・ご遺影写真 ・生花 ・返礼品
・料理 ・寝台搬送車 ・霊きゅう寝台車 ・ひつぎ ・マイクロバスなど

清明会館での玉納奉寿を希望される場合は、下記の内容を神示教会職員が全て手配いたしますのでご安心ください。その他の費用には、①基本料、②基本料以外に必要な費用、③ご遺族の希望により準備するものの費用があります。

①基本料 257,140円

●基本料に含まれる内容

・儀式会場祭壇一式 ・ご遺影写真作成（四切、額付） ・ひつぎ（桐6尺、布団付）
・御玉入れ（7寸、桐箱付） ・防水シート ・ドライアイス（10kg） ・記帳用紙
・会神（会葬）礼状（50枚） ・寝台搬送車（病院から安置場所までの20km以内）
・霊きゅう寝台車（清明会館から火葬場までの10km以内）
・送魂明宝室（霊安室）使用料（安置開始から翌々日の8:00まで。それ以降は1泊4,320円）

②基本料以外に必要な費用

・火葬料、火葬場休憩室使用料…利用する火葬場によって異なります。

（例）横浜市の火葬場は、

・死亡者が市内在住の場合は、火葬料 12,000円、休憩室 5,000円
・死亡者が市外在住の場合は、火葬料 50,000円、休憩室 7,500円

③ご遺族の希望により準備するものの費用

・祭壇周りの生花…生花籠1基16,200円から。必要な数のご注文を承ります。
・会葬者への返礼品…会葬御礼品1個430円から、香典返し品1個2,160円から。必要な数のご注文を承ります。
・会葬者に対しての料理…通夜用（すし、オードブル）、告別式用会席膳などのご注文を承ります。（料金は料理のパンフレットでご確認ください）
・マイクロバス（25人乗り）…清明会館から横浜市内の火葬場までのご利用で、1台38,880円から承ります。
・看板…玄関の故人のお名前を記した看板や、地下鉄蒔田駅からの案内看板などを承ります。玄関用10,800円、道案内用4,860円（1枚）

（平成31年2月1日現在）



いざというときに安心してお申し込みいただけるよう、全国どこでも玉納奉寿の事前相談を承っております。神総本部儀式受付、各偉光会館ひかりのやかたで気軽にお声を掛けてください。

神総本部儀式受付お問い合わせ ☎045・710・1375（9:00～16:00）
※神総本部休講日を除く

申し込み ☎045・731・4443（24時間受け付け）

大山祇命神示教会

玉納奉寿（葬儀）の基本的流れ

故人のご逝去から納骨までを説明します。流れは、ご希望に応じて変更されます。各地の風習に合わせて行うこともできますので、安心してお申し込みください。

●ご逝去

- ・病院、自宅などで亡くなり、医師の確認後、死亡診断書が発行されます。



●ご遺体の搬送・安置

- ・病院で逝去された場合は、すぐにご遺体を自宅、式場等にお移しして、安置します。
- ・自宅の場合は、前飾り（枕飾り）をしつらえます。



●納棺・式場設営

- ・納棺、および式場の設営は、葬儀社が教会職員と打ち合わせながら、ご家族の要望に沿って進めます。



●納魂の儀（通夜）

- ・通夜に行う儀式、「納魂の儀」を、伝導師が執行します。



●玉納奉寿の儀（葬儀・告別式）

- ・葬儀・告別式に当たる「玉納奉寿の儀」を、伝導師が執行します。
- ・ご家族や友人の代表が、故人に贈る言葉を述べます。
- ・遺族、親族の代表は、参列者へご挨拶します。



●玉立の儀（お別れ・出棺）

- ・ひつぎにお花を入れ、故人とのお別れを行います。
- ・お別れの後に出棺し、火葬場に向かいます。



●火送りの儀（火葬・収骨）

- ・伝導師が火葬場に付き添い、儀式を執行します。
- ・伝導師は、収骨にも立ち会います。
- ・火葬後の繰り上げ法要などの儀式はありません。

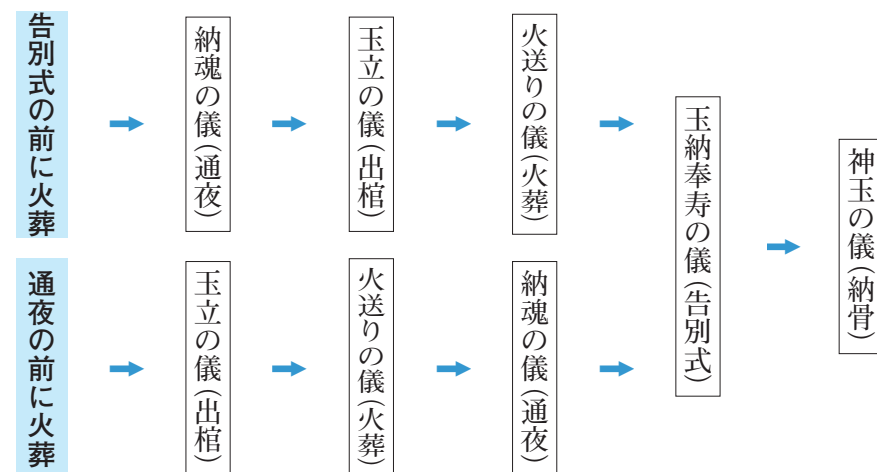


●神玉の儀（納骨）

- ・神示教会の施設（神玉里・神玉園）に納骨する場合は、火葬、収骨の後に、ご遺族の希望日に合わせ、後日に、儀式を執り行います。



火葬を先に行う流れ



※偉光会館での玉納奉寿は、一部を除き、先に火葬し、骨葬形式で執り行います。
 ※後日、神示教会の施設に納骨する場合は、神玉の儀を行います。

玉納奉寿（葬儀）を行う式場の選定

